

人気の4つのソナタを中心に、4人のピアニストで四季折々をテーマにしたプログラムを  
ミュージア川崎の極上の音響で優雅に聴く贅沢

# 千住真理子フェスティバル

## ～リサイタルで巡る“春夏秋冬”～

千住 真理子 Mariko Senju (Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨークカーネギーホールのウェイルリサイタルホールにて、ソロリサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&バルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」を

リリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.1」をリリース。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」(完全版)を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011～2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ  
<https://www.marikosenju.com/>

全公演会場：ミュージア川崎シンフォニーホール (JR川崎駅中央西口より直結徒歩3分、  
京急川崎駅より徒歩8分)

### ★4公演セット券

指定席セット 14,400円 舞台後方席セット 7,200円

### ★1回券料金 (各回共通)

指定席 4,800円 舞台後方席 2,500円

※ミュージア川崎友の会会員は1回券指定席4,400円、舞台後方席2,300円(セット券の友の会割引はございません。)

## Vol.1《春》スプリング・ソナタ

2021 **5/11** (火) 午後1時30分 ピアノ：山中惇史

J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ/ヘンデル：ラルゴ  
モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番より  
アンダンテ・グラツィオーソ〜トルコ行進曲

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調「春」

メンデルスゾーン：春の歌/モーツァルト：春への憧れ  
ランゲ：花の歌/リスト：愛の夢第3番/フォーレ：夢のあとに  
ドヴォルザーク：ユモレスク/中田 章(山下康介編)：早春賦  
サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン

### 春を彩る美しき名曲プログラム

千住真理子フェスティバル第1弾を飾るのは、春にちなんだ名曲プログラム! 厳しい冬を越し誰もがわくわくするこの季節をテーマに、過去の作曲家たちも可憐で美しい名作の数々を残しています。実力派として近年急激に評価を高める若手ピアニスト・山中惇史を迎え、千住真理子が生命の喜びに溢れる春を描きます。

## Vol.2《夏》雨の歌

2021 **7/6** (火) 午後1時30分 ピアノ：丸山 滋

J.S.バッハ：G線上のアリア/ヴァイターリ：シャコンヌ  
ヘンデル：涙の流れるままに  
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番ト長調「雨の歌」

サラサーテ：スペイン舞曲集よりフライエーラ  
ドヴォルザーク：スラヴ舞曲 第2番  
ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番/クライスター：ジプシーの女  
リリウオカラニ(クライスター編)：アロハ・オエ  
成田為三(千住明編)：浜辺の歌/千住 明：海を越えた贈り物  
サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ

### しっとり奏でる雨季 そして情熱の夏へ

千住真理子の選んだ「夏」の曲は、まず雨季から。しっとりと、心に染み入るような作品が並ぶ前半はブラームスの名作「雨の歌」によって美しく完結します。後半は一転、一気にボルテージを上げて、情熱の夏を演出! 千住真理子らしい絶妙のプログラミングが光ります。盟友・丸山滋との阿吽の呼吸によるアンサンブルにもご期待ください。

## Vol.3《秋》フランク：ソナタ

2021 **9/15** (水) 午後1時30分 ピアノ：山洞 智

アメイジング・グレイス  
ショパン：夜想曲 第2番/夜想曲 第20番(遺作)/別れの曲  
フランク：ヴァイオリン・ソナタイ長調

岡野貞一(山下康介編)：もみじ/滝廉太郎(千住明編)：荒城の月  
ドビュッシー：月の光  
ボンセ：エストレリータ(小さき星に)  
ホルスト：ジュピター/ロシア民謡：黒い瞳  
マスネ：タイスの瞑想曲  
ショーソン：詩曲

### 大作曲家が描いた、詩情溢れる音楽

冒頭の幻想的な響きが落ち葉を思わせなくもない、フランクのヴァイオリン・ソナタを中心に、美しくもどこか儂い作品が並ぶこの公演。やはり気心知れた旧知の仲である山洞智とともに贈る、詩情あふれる「秋」プログラムは、千住真理子が「私にとって、とても弾きたい曲」と語ったショーソンの傑作で締めくくられます。

## Vol.4《冬》クロイツェル・ソナタ

2021 **11/26** (金) 午後1時30分 ピアノ：横山幸雄

### 《オール・ベートーヴェン・プログラム》

ヴァイオリン・ソナタ 第4番イ短調

ヴァイオリン・ソナタ 第7番ハ短調

ヴァイオリン・ソナタ 第8番ト長調

ヴァイオリン・ソナタ 第9番イ長調「クロイツェル」

### 厳しい冬に奏でるベートーヴェン

厳しい冬を人生の困難に例え、不屈の精神で乗り越える—あえてのオール・ベートーヴェン・プログラムからは、千住真理子のそんな意図が感じられるようではありませんか。1日でショパン全曲演奏、2日間でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏をこなす、音楽界の“超人”横山幸雄との白熱のアンサンブルで、シリーズ最終回を飾ります。



© Kiyotaka Saito (SCOPE)